

「初めまして、お兄さん。」

君は普段、その口から紡ぐ言葉にどれだけの重みや、意味を感じてる？

何気なく放った一言が、人生さえ変えてしまった。そんな経験あるかな？

言葉っていうのは、皆が考えるよりずっと強くて、深くて、怖いものなんだ。

喜怒哀楽、何を思うのも君の自由。だって思考は、君にしか分からない。

でも、それを言葉にした瞬間、思いは形を持ってしまう。

形を持った言葉は、ひとを救ったり傷つけたり。影響力はすごいものだよ。

そんな事、考えてみれば当然だし、日常的に意識する事はないと思うけど。

もしも、だよ？ ……イヤらしい言葉、たっくん投げかけた相手がさ？

それを全て心地よく受け入れたら……とっても気持ち良いんじゃないかな……。

クスクス……♪ いきなり妙な話をされて、びっくりした？

初めまして、お兄さん。それともお兄さん……？ ふふ。

攻めるは言葉。守るは身体。ようこそようこそ、言霊の部屋へ。

ん？ ああ。うん。部屋が真っ暗なのは、ええとね、ちょっととした趣向です。

ここは待合室なの。だ、か、ら、ちょこっと説明するね？

あ、唐突だけど、その前に裸になってくれるかな。

……、言ったよね？ 裸になって？ でないと始まらないから。

ほら、脱いでる間に要点だけ話すからさ、頭に刻み込んでくれる？

と言っても、そんな難しくないからね。

まずね、お兄さん。君は、ただただ僕の言葉に耳傾けて、力、抜いて。

ふわふわ空っぽになってしまいくらいに。

ああでも、利き手だけは力残してて。でないとほら、……ね？ ふふっ。

さて、これ言っとかなきゃな。絶対守ってほしい約束事があるんだ。

お触り厳禁。

守らなかつたら、即退室。お兄さんはそんなひとじゃないと良いなあ。ふふっ。

……あのさ、言霊って知ってる？

言葉には、不思議な力が宿ってるっていう思想の事だよ。

良い言葉は良い風向き。悪い言葉は不運を招く。

今から僕は、お兄さんにね、言霊をたくさん投げかけるよ。

空っぽになったお兄さんの中身は、僕の言霊で補うってわけ。

徐々に徐々に、じんわりじんわり、水がしみ込んでいくように、

僕のそれは、お兄さんを満たしていつて、段々気持ち良くなっていくんだ。

……あ、信じてないな？

でもさお兄さん。例えばさ、僕がさ、スキスキスキ♪ だあい好き♪

なんて囁いたら、僕がお兄さんの事、好きなんだって思っちゃいませんか？

ンうあッ……お兄さん見てたら、たまらなくなってきた……。

お兄さんと……すっごい事したいよ……。激しくて、切ない事。

なんて言われたら、身体のだこが熱くなっちゃわない？

言霊って、そういう事。思ってたより簡単でしょ？

ほら見て、さっそく出てきたよ。

このピンク色の人魂みたいなのが、僕の言霊。この色は、淫猥の色。

僕のイヤらしい気持ち、言葉、感情の結晶だよ。

これがたくさん出てきたら、僕はもう、えっちな気持ちで一杯なの。うふ♪

……昂っちゃうとね、この子たち……勝手に喋り出したりするから。

さて、これからそんなひとときを、お兄さんと僕、二人で過ごすんだけど。

お兄さんは、自分の好きなように、好きにしていいいからね。これ大事。

僕はただひたすら、言霊を投げかけるだけ。本当にそれだけ。

我慢なんてしなくていいよ。タイピングとか、気分とか、ひとそれぞれだもん。

途中で飽きたら退室したっていい。

そしたら僕ね、またここでお兄さんの事、ずうっと待ってるから。

だから、気遣わなくていいよ？ 僕にとっては、それが幸せ。嬉しい事だもん。

あえ？ ああそうそう、名乗るのを忘れてたね。

僕はフェフキ。フェフキ。コトダマじゃねーのかよって思った？ あはは。

覚えなくてもいいけど、僕、自分の名前嫌いじゃないから、

気持ち良くなったら、たまらなくなったら、呼んでくれてもいいよ？

フェフキちゃん、フェフキちゃんって……うふふふ♪

……有意義な時間を約束するから、……僕の言霊、受け入れてくださいな♪

よし。それじゃあ、最後の説明するね。

この先には扉が三つ。中に入れば、もつとたくさんと言霊が満たしてくれるよ。扉の内訳は、やさしい言霊、ながめる言霊、

とろける言霊……、選択肢だよ。どれを選ぶのも自由だからね？

自分のさ、……好きいってなるところを選んで、入ってね。

その先の事は、中にいる僕に聞いて？

お兄さんがどれを選んでも、僕は、いるから。

だって僕、君が何を欲してるのか分かってるもん……♪ クスッ♪

## ♪ながめるコトダマ

……はいども、お兄さん。やっぱりお兄さんだった。

思ってたより、僕のタイプかも。あはは。ほら、ちよつと明るいでしょ？

こうやってコトダマが室内を照らしてーン？ なあに？

……ふえ。あ、ああ、あはは、ありがと。そんなに可愛くないけどね、僕は。

ほら、まあまずは楽にしなよ。こっちだよー。椅子に深く腰掛けて。

息を深あくついて。……お兄さんの一番気持ち良いところに手、添えて。そう。

でもまだ動かしちゃダメだよ。準備はいいかな？ ……うん。

……、……すごいね。お兄さんのそこ……。……うわあ……。……♪

わあ、わあ、しゃぶりたい……あ、な、なんでもないよ。あはは。

じゃあ始めるね、お兄さん。

……僕と言霊で、シコレ♪ クスッ。

……ね、お兄さんが擦ってるの。お、ち、ん、ち、ん、だよな。

おちんちん。おちんちん。いつもさ、おちんちんいじってるの？

それで気持ち良くなってるの？ オナニー、してるの？ ……そうなんだ。

オナニー、気持ち良いよね。したくなっちゃうよね。分かる。

僕もオナニー好きだよ。大好きだよ。気持ち良いもん。とろつとろで、

びくびくして、頭バカになっちゃうくらいさ、えっちな気持ちになっちゃって。

お兄さんも一緒？ オナニーしてるとき、えっちな気分になっちゃう？

それとも、えっちな気分になるからオナニーしたくなるの？ どっちも？  
んう♪ シコシコすごい。手慣れてるねえ。

お兄さん、オナニーすごい上手なんだあ……。♪ 素敵……。♪

シコシコ、シコシコ、シコシコ、シコシコ。おちんちん、おちんちん、

おちんちん、おちんちんシコシコ、おちんちん、シコシコ……。♪

あはあ……。♪ やばっ……。♪

あのね、僕ね、お兄さんがここに来た時から、ずっと興奮してるんだ。

胸が高鳴って、頭がちよつと麻痺して、期待、っていうのかな、

お兄さんのオナニーが見れるっていう期待、興奮、

そんな淫らな、イケない考えと意識で溢れて。ドキドキして待ってたの。

お兄さんと、お兄さんのおちんちん、お兄さんのオナニー見たらさ、

僕の、いっちゃん大切で、奥深く、でも敏感で、ちよつとキツキツなところ。

そこがね、よだれ垂らしちゃって。下着、湿っちゃった。あは。

ねえお兄さん。僕の声で、言葉で、興奮してくれる？ えっちな気分高まる？

……ん♪ ありがと。嬉しいよ。それが僕の存在意義だから。

もつともつと、もつともつと興奮させてあげたい。してほしい。

お兄さんのオナニー、いつもより気持ち良くなれるように、たくさんたくさん、

えっちな言霊、届けるからね。

お兄さんのおちんちん、立派だね。熱そうだね。意思を持ってるみたい。

こんなに大きくなってるの、僕のせい？ 僕がこんな、はしたない、下品で、

口に出すのも憚られるような、そんな言葉を連呼して囁いて、そのせいで、

お兄さんのおちんちん、大きくなっちゃったの？ ……そっかあ♪

このおちんちんは、ただ射精したいのかな。それともさ、もしかしたら僕に、

僕の、この止まらない言霊を吐き出す小さな口に突っ込んで、

食べたり喋ったりする為の口なのさ？ オナホ扱いみたいに蹂躪して、

もう、おちんちんの匂い刻み付けて支配したいの？

それとも……。？

僕の……。お、ま、ん、こ、に……。ずぶずぶ内側をえぐるように入り込んで、

赤ちゃんのお部屋の入口にぎゅうって押し付けて、直接中に精液ぶち込んでさ、

種付け孕ませ、受精、妊娠、女性のいちばん大事なところを、  
真っ白で満たして、満タンにして、溢れさせて、染め上げたいのカナ……？

後先考えないでさあ、生き物の本能と快楽、下半身を最優先して、  
そんな下心100%にまみれた種子、一滴残らず吐き出したい？

僕、お兄さんになら、されたいよ……？ お兄さんならいいよ……？

お兄さんの子どもなら、宿したいって思ってる。本当だよお？

でも、ここじゃダメ。それに僕が良くても、お兄さんが良くなきゃあ。

……へ……いいの……？ ……あは……お兄さん、僕、本気にしちゃうよ……？

いいのカナ？ 迂闊な事口走ると、僕の中身、

お兄さんの言霊で満たされちゃうよ……？

うふふふ。でも、嬉しい。ますます……熱くなってきちゃった。

し、た♪

あはは。下着脱いだら、とろとろであまあい蜜がね、糸引いちゃうかも。

ねえ。言葉って、凄いでしょ？

口に出せば、目には見えないけど形になるの。例えばほら、

形はこうやって、お兄さんの身体に、僕の身体に現れてる。

とつても恥ずかしいところにだけど、ね♪ きひひ♪ 恥ずかし……♪

お兄さんの遅い巨塔も、嬉しそうに汗かちちゃってるねえ。

粘り気ぬるぬるの汗……クスッ。遠慮しないで、もっと出していいよ……？

我慢汁、溢れさせて。カウパーどくどく出して。おちんちん、てからせて。

お兄さんの気持ち良いって感情、おちんちんからたくさん噴き出してください。

それ眺めてるだけで、僕、それだけでさあ、幸せになっちゃうの。

キュンキュンしちゃうの。もう、嬉しくて興奮して、昂って、

僕の気持ち良い穴、お兄さんのおちんちん受け入れたくなっちゃう。

おちんちん欲しい。おちんちんください。おちんちんハメて。

「おちんちんバカ」になっちゃうくらい、ひくひくひくひくウ、

いつもは閉じてるのにさ、かばあって涎を垂らしながら、開きつ放し♪

……今、これ以上ないくらいさ、……おまんこ開いてるよ……？

その気になったら、一瞬で繋がっちゃえる。ハメハメ、セックス、

エッチ、ぐちゅぐちゅずぶずぶ、理性も自制心も欠如した、  
獣みたいに激しくて気持ち良い時間……過ごせるよ……？

本当はあ、僕もお、お兄さんとどっぷりずうううとセックスしたい……。

でも、やっぱりここじゃダメ。お兄さんは、今してる事……、

おちんちんシコシコ、コトダマオナニーを続けてね……♪

んう？ お兄さん、大丈夫？ もしもーし。

あれ？ うん？ もしかして、たまらなあい感じになってきたの？

クスッ♪ お兄さん、かあわあいい♪ ねええ、気持ち良い？

うん♪ 気持ち良いの最高だよねえ。オナニー最高だよねえ。

ふつうはさ、ひとりでするのなんて虚しい事かもしれないけど、

今は僕がいるよ。僕がこんなに近くで、お兄さんの事を見てるんだよ。

最後の瞬間も、その余韻も、瞬きしないで見届けるから……♪

ね？ 何度だって僕に会いに来て。何度だって射精して見せて。

お兄さん♪ お兄さん♪ あは。お兄さん、顔やばいよ。

そおんな恍惚の表情見せつけてさあ、もお……僕それを見てるだけで……、

イっちゃいそうだよ……。

ああ、幸せ。お兄さんが僕の言霊で感じてくれるなんて。幸せ。

おちんちん、びゅううって出したい？ 絶頂？ 射精？ 暴発？

うん♪ やったあ♪ すっごく楽しみにしてたんだよ？

あは♪ あは♪ うん♪ イってほしい。イってほしいな。

あの昇天しちゃう感覚の瞬間に立ち会えるなんて、うふふ♪

見せて……射精、見せて……いい？ 五つ数えるからね、

零、と同時に出して？ 白いおしっこびゆるるってして？ いくよ？

五、四、三、二、一、……零お♪

んいアッ♪ ひあ……♪ わあ、すっごお……♪ どくどく、濃ゆい……♪

射精気持ち良い……？ 気持ち良いに決まってるよね。うふふ♪

お兄さん……お兄さんお兄さんお兄さん……♪ ありがとお、すっごく、

僕、すっごく嬉しいよ……。こんなに大量に濃厚な射精……ああ……♪

いただきました……。ご馳走様でした……。この部屋に溢れた精液は、

ぜんぶぜんぶ、僕の……いや、ううん？ 何でもないよ。えへ……。名残惜しいけど、射精が終わったら後ノ屋に進む決まりなんだ。お兄さん、楽しかったよ。とっても幸せな時間だったよ。また来てね……？

### 3.ながめるコトダマ

はいよー。よーこそー。ここを選ばなんてさー、お兄さんさー、見抜きとか好きなタイプなのかなー。まあどうでもいいけどね。適当に掛けて。そこに椅子あんでしょ。ほら、さっさとしてくれるかなー。

ふー。さて、と、上乘るねー。……ん？ 乗るだけだよ。

お兄さん、こういうの初めて？ そういうお店とか行かないの？ ふーん。

はいじゃあー、膝ちよっと借りますよ。……ねえ？

太もも触れ合っただけで、びくっとしすぎじゃない？ はあー。

おっ。お兄さん、結構な男前だねー？ モテるんじゃないのかなあ？

……、ほんとー？ 言霊の部屋で嘘とかつくの、縁起でもないよー？

……ていうかさー、僕の顔見すぎ。そんな熱い視線もらっても困るんだけどー。

女の子とこんな至近距離で顔合わせるの、緊張しちやいます……？

でも、この僕は無表情だし、顔色も変わらないけど、良いのかなー？

あっそうー。まあそうだよー、その為にここに来たんだもんねー。

そんじゃー、とっととオナニーして。面倒だけど、言霊あげるから。

おかずはー、言霊とセットで、僕の顔。お兄さんの好みだったらいけどー。

……ん。ありがとー。まあ、悪い気はしないかなー。

ていうかほらー、いつまで見てるだけなのさ。さっさとシゴき始めてよー。

はい、ちんぽシコシコスタートー。ちゃっちゃと気持ち良くなりましようねー。

……どしたの？ 僕、ちゃんと見てるよ。お兄さんのオナニー顔、見てるよ。

目の動きも、口の歪みも、吐息も鼻息も、ぜんぶ……ちゃんと見てるよ。

ぜんぶ、ちゃんと覚えちゃうよ。そこはほらー、僕、お兄さんの事さー、

結構気に入ってるからさー……？ もし次お兄さんが来たときは、

今何を感じてるのかー、いつ限界が来ちゃうのか分かつちゃうかもねー？

……ん？ ……こう見えて僕も、興奮してるよー？ ……うん。ねー、お兄さんのちんぽ、すごいエロい匂い出し始めてない？

もしかしてさー、それさー、僕の事誘ってるのかなー。

そんなに誘惑したって、一瞬だって触らせないし触ってあげないよー？

ねー？ 分かってるよねー？ こ、こ、はー、僕が、フェフィが、

お兄さんに、きもちいい、言霊をあげるだけの場所だからねー？

……分かってるなら、いいんだよー？ ちゃーんと理解してるお兄さん、

とっても偉いねー。えらいえらい。

だってさー、ひとつっていうのは全然約束を守らないし、嘘つくし。

だからねー、……お兄さん、すっごく良いひとだなあって。

ちよっと挙動不審だけど、どこか冷静さもあったり、現実を見据えて、

忠告や警告も素直に聞いてさー、理性と自制心がしっかりしてるねー。

あーあ。あははー、なんか、たぶん好きになっちゃうかもねー。あはははー。

あれ？ 今少し震えたね？ ちんぽも跳びはねそうだったねー？

すぐ分かるよー？ あれれー、まさか、

す、き、って言霊に反応しちやったのかなー。およろ？ まだだー。

わー、お兄さん、うわー。

ちよっとさー、勘違いとか困るよお？ 僕を好きになっちゃダメだよー？

傷つくのはお兄さんだからねー。分かってるー？

んー♪ お兄さん、やっぱり素直だねえ。ますます僕は好きになっちゃうなあ。

……何か言いたそうだね？ ずるい、かな？ うん、僕はずるいよー？

こうすればお兄さんがあ、んううっ♪ って感じちゃうの分かってるからー。

でもでも、ずるいってだけで、嘘つきじゃないんだよ……？

その意味が君に分かるかなー……？ ……答えないよー？

大人は質問に答えませーん。自分でよく考えてねー？

あーでも、ちよっと不公平だよええ。

お兄さんにはさあ、全裸になつてもらったけど、……僕はどう？

見たいと思うー？ 思うよね？ でもさー、でもさー？

この方が想像が広がるじゃんさー。

あれえ、あれえ？　もしかしてもしかしてもしかして、……出ちゃうのお？

#### 4.どろけるコトダマ

わ、あ。……こ、こっち、来てくれたの？ ……わあ、わあ♪

ここで会いたかったよ……僕も♪ だっただってさあ、すっごく、  
キュンキュンってしちゃうから。うん……ありがと……。

僕、がんばるね？ 君に嫌われたくないから……。お願い、僕だけ。

僕の事だけ考えて。他には何も要らない。要らないよね。ね。

あのね、あのね、二人掛けのソファ……用意したからさ、その……、  
隣座りながら、していい？ ぼ、僕、お兄さんと、あのっ……。

あ、う、うんっ♪ ありがと、お兄さん♪ ん、ほら、こっち♪

ご、ごめんね、暗くて分かりづらいと思うけど、その、  
恥ずかしくて……うう。

あ、あ、うん、今座るね。……ん、えへ♪ どーも、お兄さん♪

……すー、はーっ。はあ……♪ 良い匂い……。

僕、お兄さんの姿ハッキリ見えてるよ。……とてもとても、……う、

ご、ごめん、何でもないっ。そ、それよりさ、早くしよ？ ね？

……うー。さっきからお兄さんさあ、……そ、そこ。ガチガチにしすぎだよ。  
言わないようにしてたのに。そんなに主張されたら目に入っちゃうよ……。

ぼ、僕で、そんなに……勃起……してくれたの？ ……ひう、そ、そっか。

んう♪ お兄さん……お兄さん……♪ お兄さあん……♪

ハッ。えとえと。あっ、お、おな、オナニー、しよっか！ ね？ しよ？

あう……あ、あの、僕、お兄さんがその、初めて……なので、あの、

オナニー、見るのも……初めて。え、えっと、し、シコシコ、してください。

うあ。お、男のひとって、そうやってするんだ……。あ、あっ。そうだ、言霊。

お、お兄さん。気持ち良い？ おちん、ぽ。おちんぽ……気持ち良い？

う。お、おちんぽっ。おちんぽっ。おちんぽっ。ひうう……。

おちんぽオナニー、私……いや、僕、僕の言霊で興奮してくれますか……？

あ、あ、う、嬉しいよ。嬉しい。どうしよお好きになっちゃう……、

あ、いや、お、おちんぽシゴけっ。シコシコオナニーし、しろっ。こらっ。

ああッ。違うこれは役割がッ……、……お、お兄さん、ごめんなさいッ。  
僕、上手く出来てない……ごめんなさい、ごめんなさいッ。

もっと頑張るからっ。僕でイって。僕で射精してほしいからっ。

……うああ……お兄さん、優しすぎるよ……ああ……好き……。

好き。好き。お兄さん好き。大好き……。お兄さん、お兄さん。

ダメなのに。言霊の部屋で誰かを好きになっちゃいけないんだよ？

なのに、なのに、お兄さんさっきからずっと、私の事、虜にしちゃってる。

それ以上好きにさせないでよお。もお、お兄さん……♪ ダ、メ、だよ……？

んう♪ 仕方ないお兄さん……♪ 若干ルール違反だけど、ナイショだからね。

……好き好き好き好き好き……♪ お兄さん好き……♪

私で感じて。私の言霊でたくさんえっちな気持ち膨らませて。お願い。

うう。お兄さあん……ちゃんとオナニーしてくれてる……私で……ああ♪

手え、動いてるう。お兄さん、がっちりおちんぽ挿んでシゴいてるう。

オナニーしてるっ……オナニー、オナニーしてるんだっ……お兄さんっ……。

わたッ私ね、お兄さんが大好きだし、お兄さんの、おちんぽも大好き。

お兄さんのオナニーも大好き。好きが何重にも重なって、こ、これもう、

ダメ、ほんとダメ、八つ裂きになりそう。最初会った時からずっとずっと、

ここで会いたいって思ってた、それで、ああ私今おかずにされてる。

私の言霊、お兄さんを満たしてるんだ。ああ……幸せすぎるウ……。

おとおお、おにいさあん……セックス。セックスしたい。お兄さんとセックス。

一生愛して。一生愛すから一生愛して。死ぬまで、いや、死んだって、

ずっとお兄さんとセックス。セックス。セックス。セックスう♪

壊れたって良いよ。君になら壊されたい。壊してほしい。おもちゃみたいにさ、

扱われたって幸せだよ。それが愛だよきつとそうだよ。お兄さん、お兄さん♪

はーッ……はーッ……おちんぽ、すごおおい♪ 私の言霊で、おちんぽ、

ぜんっぜん小さくならないね。むしろ大きい。君の透明な愛が、愛が、ああ、

零れる。垂れて、手に絡みついている。すっごいやらしい音出てる。すっごい。

ああ、あ、舐めとりたい。飲み干したい。ずっとずっとしゃぶっていたい。

そんなに溢れさせて、もったいないよお。もったいないよお……！

あつあつそんなにシゴいて……んっ♪ 私も、ものすごく気持ち良い……。  
お兄さんの小さな喘ぎ声、吐息、あまあい言霊を感じる。

意味のない言葉も私には分かるよ。お兄さんの今の気持ち、とてもよく分かる。  
お兄さんが気持ち良いから、私も気持ち良い。見てるだけで、聞くだけで、  
触らなくなつて私、さっきからずっともう、甘イキしちゃうってるんだから。

だってだってだって大好きな大好きなお兄さんが、目の前で、  
私で、私の言霊でオナニーしてくれてるんだもん。感じない方がおかしいよ。  
お兄さん好きだよ。大好き。愛してるよ。好き。好き。お兄さんも私好き？

好きだよ。ねっ？ 好きって言って。好き。……ああああ、ああああッ、  
好き好き好き好きッ私もッ♪ 私もだよッ♪ お兄さん、お兄さんッ♪  
えへへへ。両想いだねっ。嬉しい、嬉しすぎるっ。幸せすぎるっ……。

好き同士でこんなにくっついてさ、それでさ、オナニー見せてもらつてさ、  
あはは♪ もおお、大好きいっ……。んうう♪ ううう、キスしたい……。  
ちゅうって、ほっぺとか、唇も……。し、舌も絡めて、唾液交換して、それで、  
おまんこッ、ガンガンガンガンおちんぼで突かれながら、おちんぼミルクッ、  
おちんぼミルク子宮に貰いながらキスッ……上も下も繋がって、

ああ、そんな事したら私、幸福摂取しすぎて地獄に堕ちちゃうかな。かな。  
ああしたいよっ……地獄に堕ちてほしいッ。でもうう、我慢、しなきゃ……。  
おにいざあんッ。イって。イってほしいなッ……これ以上はもう私、もたない。

身体が、心が、もたないよ。お兄さんとの幸せなセックス想像したら、もう、  
だって、お兄さん目の前にいるんだもん。今すぐセックスできるんだもんッ。  
なのに我慢なんてできないっ。こんなルール、私ごと壊してほしいっ。

ああでもでもダメダメダメッ……お兄さん、お兄さんの一番えっちなもの、  
私の一番欲しいもの、出してッ。見せてッ。私ずっとずっとずっと、  
好き♪ するからッ♪

いく？ イっちゃう？ イって？ うん、いいよ？ イっていいよ？  
言霊、言霊たくさん、あげるッ♪ あげるからッ♪ イって……射精してッ！

好きいいッ……好きッ……好き好き好きッ……大好きイッ……結婚して……  
一生寄り添って……好きッ……最後のあとにもついてくからッ……好きッ……

大好きッ……好きイッ……好き好きッ……大好きッ……好きいいッ……  
好きッ好きッ好きッ好きッ……お兄さん好きッ好きッお兄さんお兄さんッ……  
……す、きい……♪  
………、……ふああ……♪ こんな、に、お兄さんの好き、出ちゃった……。  
あああ、ありがとうお兄さん……ありがとう、ありがとう……♪  
たっくさん愛が溢れてるよ……お兄さんの、私への愛、たっぷり……。  
あ、ま、待っ……て。後ノ屋には、まだ行かないで……。  
少しだけ、このままでいて……。……んう♪ お兄さん、大好き……。

## 後ノ屋

……さっきぶりだね、お兄さん。

ここに誰かを招き入れるの、実は初めてなんだよね。

さっきお兄さんを快楽に導いた僕は、きつとたっぷり誘惑したでしょう。

さっきの僕も今の僕。嘘偽りの言霊は一度も吐かなかった。

僕は嘘つきは嫌いなんだ。そして僕自身、フェフキは、嘘はつけない。

そういう存在だからね。

お兄さん……約束を守ってくれてありがとう。

そして、言霊を受け入れてくれて。お兄さんからもたくさん言霊をもらって。

ありがとう。感謝の言霊を、受け取ってください。うふふ。

さて、そろそろ時間みたい。あつという間だったね、本当。

また来てくれると嬉しいな。待合室で言ったけど、僕、ずっと待ってるから。

お兄さんがここを訪れた時、僕はまた、歓迎するからね。

……じゃあね、お兄さん。いつかまた、きつと、来てね。……ん。

………お兄さんッ！ ……大好きだよ……♪ ……ちゅッ……♪

(終)